

こどもが元気になる国づくり・まちづくり

こども環境学会の果たすべき役割と課題

こども環境学会は今年、設立10周年を迎えます。

これまで様々な分野の研究者・実践者が集まり、こどもが心身ともに元気に育つための環境づくりについて考え行動してきました。

10周年を記念し、これまでの活動を振り返ると共に今後のこども環境学会の果たすべき役割と課題について改めて考えるため、記念講演会&シンポジウム、懇親会、記念展示会を開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

1. 記念講演会&シンポジウム

日時:2014年10月20日(月) 13:00~17:30

会場:建築会館 1F ホール(東京都港区三田 5-26-20)

定員:300名(先着順)

参加費(当日料金):2,500円(会員・一般)/1,500円(学生)

・10月16日以降のお申し込みは当日料金とさせていただきます。

2. 記念懇親会

日時:2014年10月20日(月) 18:00~19:30

会場:建築会館 イベント広場

参加費:3,000円

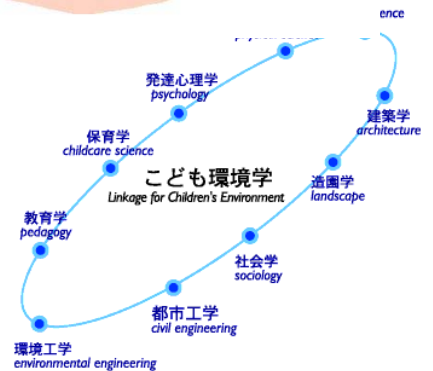
3. 記念展示会

日時:2014年10月15日(水)~23日(木) 9:00~19:30

※最終日は、17:00で展示を終了します。

会場:建築会館 1Fギャラリー 入場料:無料

内容:10年間の活動の記録、こども環境学会賞展示等



記念講演会&シンポジウム スケジュール(予定・敬称略)

- 13:00 活動報告
10年間の歩みとこれからのこども環境学会
- 13:50 記念講演
『内なる自然』を取り戻す自然体験活動
ロビン・ムーア ノースカロライナ州立大学教授, Natural learning Initiative 代表
& ニルダ・コスコ 心理学者、元 IPA アルゼンチン支部長
- 14:45 記念シンポジウム
こども環境の世界の課題とこれからの学会の取組み
話題提供:
ステシュナ・チャッター
こども環境アクション(ACE)会長、子どもにやさしいアジアパシフィック・インド議長、
ニューデリー大学客員教授
宮武大和
札幌トモエ幼稚園教諭
パネルディスカッション:
解題: 中島興世 元恵庭市長・子育てと教育を考える首長の会事務局長
解題: 汐見稔幸 白梅学園大学学長
パネリスト:ステシュナ・チャッター、宮武大和、中島興世、汐見稔幸
コーディネーター:木下勇
- 17:25 これからの10年へ---学会を担う若い世代より抱負とメッセージ
- 17:30 終了(18:00~イベント広場にて懇親会)

参加申込:こども環境学会事務局(東京都港区東麻布 3-4-7-601)

申込みはメールかFAXにて。事務局あて氏名・所属・連絡先を送信ください。

<HP> <http://www.children-env.org/> <e-mail> info@children-env.org

<Tel> 03-6441-0564 <Fax> 03-6441-0563

公益社団法人

こども環境学会
Association for Children's Environment



記念講演会&シンポジウム 登壇者(予定)



ロビン・ムーア

ノースカロライナ州立大学教授 ケビン・リンチの門下生の一人で、こどもの環境についての世界的権威。1980年代のパークレーでの小学校校庭を環境学習の緑に変えるプロジェクトをルーツに今日では Natural Learning という教育や保育の実践と連携した活動を展開。実践の運動を重んじる、年齢を感じさせない行動派の研究者。



ニルダ・コスコ

ノースカロライナ州立大学准教授 アルゼンチン出身で大学にて教育心理学を学ぶ。IPA(国際遊び協会)の元アルゼンチン代表。エジンバラ大学にて幼稚園・保育所の園庭の環境と子どもの健康と発達に関する研究で博士号学位取得。教師や保育士と園庭をはじめ屋外の環境を改善する Natural Learning のプログラム長をつとめる。



スデシュナ・チャッタジー

2006年ノースカロライナ大学にて博士号学位取得 論文は大学で最優秀賞、その後、郷里のインドにて子どもの環境改善の活動を進めて Action for Children's Environments (ACE)を設立。地域の実践とともに、ユニセフでの子どもの遊びの権利や参画、子どもにやさしいまち(CFC)の作業グループに関わり、CFCアジアパシフィックネットワークのインド議長等の国際的にも活躍、そしてニューデリーの大学の客員教授もつとめる。



宮武大和

札幌トモエ幼稚園教諭。子どもと大人の両方が心身ともに元気に生活できる環境づくりを目指し、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、赤ちゃんも毎日一緒に「登園」しているトモエ幼稚園。自然に囲まれた環境、そして大家族のような人間関係のなかで遊びながら自分で感じ考えることを大切にして、子どもの個性を伸ばす自然体験型教育を実践している。



仙田満(公益社団法人こども環境学会代表理事)

1941年横浜生まれ。東京工業大学卒。菊竹清訓建築設計事務所を経て1968年に環境デザイン研究所を設立。都市、建築、造園、遊具を通貫する「こどものあそび環境のデザイン」をいう分野を確立。琉球大学・名古屋工業大学・東京工業大学・放送大学教授、日本建築学会会長、日本建築家協会会長を歴任。著書は「子どものあそび」(岩波新書)など多数。



小澤紀美子(こども環境学会会長)

東京大学大学院(建築学専攻)修了後、㈱日立製作所システム開発研究所、東京学芸大学を経て、現在、東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授。専門は環境教育学。中央環境審議会委員、日本学術会議連携会員などを務める。著書は「まちは子どものワンダーランドーこれからの環境学習」(風土社)、「まちワーク:地域と進める校庭&まちづくり総合学習」(風土社)など多数。



汐見稔幸(こども環境学会副会長)

1947年大阪生まれ。東京大学教育学部教授を経て2007年より白梅学園大学教授、現在学長。こども環境学会の他、日本教育学会、日本保育学会など。専門は子どもの人間学。育児学・保育学。東京大学名誉教授。



中島興世(こども環境学会理事)

北海道大学法学部卒業。恵庭市役所職員、市議會議員、市長を経て、自治体学会代表運営委員、子育てと教育を考える首長の会事務局長。この間、ローカルマニフェスト推進首長連盟代表、中央教育審議会生涯学習分科会委員などを歴任。ガーデニングのまちづくり、日本最初の地産地消運動を展開。乳児期からの読み聞かせ運動に取り組み、子ども読書のまち日本一といえるまでに発展した。



木下勇(こども環境学会理事/コーディネーター)

東京工業大学で建築を学び、住民参加、子ども参画のまちづくりを進める。(社)農村生活総合研究センター研究員を経て、1992年より千葉大学園芸学部。ユニセフ Child Friendly Cities(子どもにやさしいまち)国際諮問委員会委員。著書に『ワークショップ~住民主体のまちづくりへの方法論』(学芸出版)など。

記念講演会&シンポジウム 参加申込書

(必要事項を記入の上、事務局までFAXしてください。ホームページからも申し込みができます。)

参加するイベントにレ印をつけ、お申込みください。

□記念講演会&シンポジウム(当日料金): 一般2,500円/学生1,500円

□懇親会(事前・当日共3,000円)

- ・10月16日以降のお申し込みは当日料金とさせていただきます。
- ・当日受付でお支払ください。

(フリガナ)

お名前 _____ 所属 _____

住所 _____

TEL _____ FAX _____ e-mail _____

会員種別(レ印をつけてください)

□正会員 □準会員 □団体会員 □賛助会員 □学生会員 □会員外(一般) □会員外(学生)

FAX送信先: 03-6441-0563